

2022 年度

2/2 入学試験

国 語

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
2. 放送の指示にしたがって、解答用紙の指定された場所にQRコードシールをはり、受験番号・氏名を記入します。
3. 試験時間は45分です。
4. 問題は、1ページから15ページまで印刷してあります。試験が始まったら最初に確認し、足りないページがあったら申し出てください。
5. 答えはすべて解答用紙に記入してください。
6. 試験が終わった後、問題冊子・解答用紙とも回収します。
7. 記述問題では、指定された字数の8割以上は書いてください。ぬき出し問題では、指定された字数で答えてください。どちらの場合も、句読点やかぎかっこなどの記号も字数にふくまれます。

共立女子中学校

① 次の1～8の——線をつけたカタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 1 白鳥がヒライすることで有名な湖がある。
- 2 感染対策かんせんで面会をシャゼツしている。
- 3 故郷には豊かなコクソウ地帯が広がっている。
- 4 となりの学校からコンセイ合唱が聞こえてくる。
- 5 労働に対して正当なチンギンしんぎんが支払しはらわれる。
- 6 今季の大会は、若手の台頭たいとうが目立っていた。
- 7 床の間とこまのある方が、部屋の上座じやざにあたる。
- 8 多くの困難を退けて、金メダルを手にする。

② 次の会話は、共子さんが取材のために、歯科医師に電話をしたときのものです。これについて説明した後のア〜オの中で、正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

共子 ごきげんよう 私、共立女子中学校一年一組の二ツ橋共子と申します。① 神保先生はおりますか。

神保先生 はい。わたしが神保です。

共子 はじめまして。今回、② 担任の九段先生からのご紹介で、神保先生に、学校の「総合的な学習」の課題に関するインタビューをお願いしたいと思っ
てい
るのですが、ご協力頂け
ます
で
し
ょう
か。

神保先生 ええ、結構です。九段先生からもうかがっています。歯科医師の仕事についてのインタビューをご希望ということですね。

共子 はい、ありがとうございます。私は六月にあった歯科指導、ブラッシング指導で、歯の健康が、その人の健康全体と大きく関わるという先生のお話を聞き、大変興味を持ちました。③ 将来は、人の健康に関する仕事、医療関係の仕事に就きたいという気持ちもあり、ぜひもつと歯科医師の仕事について詳しくお話を聞きたいと思っています。今年度の「総合的な学習」の目標やインタビューの詳しい内容については、後ほどお手紙を差し上げたいと思いますが、改めて十五分程度お時間をいただける日時を教えてくださいたいのですが、いかがでしょうか。

神保先生 そうですね。来週の金曜日十三時でよろしければ、その時間がお昼休みなので、病院でお話ししましょう。

共子 おいそがしい中、ありがとうございます。④ では来週の八月五日金曜日十三時に病院にうかがいます。このとき、⑤ 病院の中の様子を写真に撮らせていただきたいのですが、そちらも許可を頂けますか。

神保先生 受付の様子や診察台で良ければ、写真を撮っても結構です。

共子 ありがとうございます。では、インタビュー当日、どうぞよろしくお願いいたします。

- ア ①で共子さんが電話の中で「神保先生はおりますか。」と喋っているが、相手の存在をたしかめる場合に「おりますか」という表現は使用しない。
- イ 自分が担任の先生から歯科医師を紹介してもらっていることは、余分な情報なので②のようにここで言う必要はない。
- ウ 自分がどういう点に興味を持っていて、どのような話を聞きたいと思っているのかを③のように伝えると、相手がそれに合わせて話をしやすい。
- エ 具体的な日時は、相手がすでに一度述べているので、④のように自分でも繰り返さない方がよい。
- オ 人物でないものを撮影するときにも所有者や管理者に許可をとる必要がある、⑤のように相手に断るべきである。

3 次の詩を読み、下の問いに答えなさい。

森の中に

宮尾 節子

突き詰めていくと死というものはありません

① 「長い間自然の森の中で生活している

と、本当は『死』というものがないんだということが

よくわかってきます。あるのは命の『循環』だけなのです。

一本の年老いた樹が死ぬと、そこからは

さまざま新しい命が生まれて来ます」

映画の中でチンパンジーの女性研究者はそう言った

一本の樹が倒れ、苔に覆われ、きのこが生え、

やがて樹は崩れて豊かな土に変わる

② 確かに言われるままにイメージしていくと

アイスクリームが溶けるようにきれいに

そこにあつたはずの死がどこかに

消えてしまっているのです

すごい。

死はどこへ行ったのだろうか

取り残されてあたりを見廻すと豊かな

森の中のないものが一つだけありました

それは

悲しみです

森には悲しみがなかった

1 線①「本当は『死』というものがないんだ」とありますが、これはどのようなことをいっていますか。ふさわしいものを次の中から

一つ選び、記号で書きなさい。

ア 森には人間がいないので、人間の「死」が存在しないということ

イ 動植物には言葉がわからないので、「死」という言葉の意味が通じないということ

ウ 何ものかの命が別の命に生まれ変わる現象を「死」とはとらえられないということ

エ 樹が死ぬことは、他の動物や植物が死ぬこととは関わりがないということ

オ あるものがなくなっても、常に替えのきく新しいものが存在しているということ

2 線②「アイスクリームが溶けるようにきれいに」とありますが、これはどのようなことをたとえたのですか。ふさわしいものを次の

中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア ある動植物の死骸は分解されて跡かたもなく、きれいになくなっていくこと

イ 自分が考えていた「死」というものが存在しない世界を自然に想像すること

ウ 森の中では動植物がいくら死んでも、人間には全く関係していないこと

エ 私が「死」に対して持っていたイメージは間違っていたと理解できたこと

3 ★の連に使われている表現技法としてふさわしくないものを次の中

から二つ選び、記号で書きなさい。

ア 体言止め イ 直喩(明喩) ウ 隠喩(暗喩)

エ 反復 オ 倒置法

★わたしは再び見つけたのです
湿った杉苔の裏側で虫の死骸を見つけるように
悲しみの裏側に隠れていた死を

森にはない

森ではない、

人には悲しみがのこります

いなくなったことを悲しむ人の

心の中に

死はやはりありました

人間の遺伝子と98%同じ遺伝子を持つという

チンパンジーがヒトに進化するために森を出るとき

水筒に水を詰めるようにして

きつと悲しみを連れて出たのでしよう心に

③ 生まれたばかりの2%の

悲しみの赤ちゃんを…

だから豊かな森になくて

森を出た人に育ったのが

死という

悲しみが

泣きながら人に伝えていく

④ 豊かな心のありかではないでしようか。

作者注 「」内は、映画『ガイア・シンフォニー第四番』より。

『ドストエフスキーの青空』文游社による)

4 — 線③「生まれたばかりの2%の悲しみの赤ちゃんを…」とありますが、これはどのようなことをいっていますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア チンパンジーに赤ちゃんが生まれて、初めて悲しみが発生したということ

イ チンパンジーの2%が森を出ることで、初めて人間が生まれたということ

ウ チンパンジーの赤ちゃんの2%が悲しむことで、人間は森を出たということ

エ 人間に進化したために、2%の悲しみを知ることになってしまったということ

オ いなくなったことを悲しむ感情を持つことで、人間として歩み始めたということ

5 — 線④「豊かな心のありかではないでしようか」とありますが、

これはどのようなことを表現していますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 森の中のいろいろなものが多様に存在する心が生まれるということ

イ 森の中には存在しなかった、人間しか持たないものが存在するということ

ウ 人間の心は、森のように豊かな場所には決してなることができないということ

エ 人間が豊かな心でいるためには、やはり森に帰っていく必要があるということ

オ 死を意識しないで生きること、森の豊かさを人間も取りもどそうということ

④ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「……祖母が管む下町の駄菓子屋を引きついで三か月ほどの楓子は、通ってくる子どもたちとしたいに開わりを深めていく。いつも仲のよいはずの江平兄妹が仲違いしている様子に気づき、兄の福斗を問いたですと、妹の凧は自分が夕飯で残しておいたものを兄に食べられてしまって、すねているとのことだった。凧の行動が気になった楓子は、塾帰りの凧のあとをこっそりつけることにした。」

草を踏む音が聞こえ、門柱からそつと顔を出す。路上に凧の姿はなかった。空き地のなかに入ったのだろうか。

① 彼女は野良猫や野良犬にこっそり餌をあげているのではないか、と推測していた。

自宅での食事や、給食を残したのはそのためだ。あとで食べようと思うものをビニール袋などには入れないだろうし、ならば動物に与える餌だと考えるのがもつともらしい。

江平家はマンション住まいで、犬や猫などのペットが飼えないことも兄の福斗に確認済みだ。自宅では飼えないため、見つけた猫にこっそり餌を与える、というのは小学生ならば充分にありそうなことだった。

とはいえ捨てられたペットにしろ生来の野良にしろ、勝手に餌を与えることにはいろんな問題があるし、危険もある。

さらには動物の命に関わる懸念もあった。犬や猫には玉ねぎなどのネギ類を与えてはいけない。中毒症状を起こしてしまうからだ。

先週出された江平家の野菜炒めにも玉ねぎが入っていたと福斗に確認している。凧がそのことを知らない可能性は高い。

いずれにしても幸福な結末にはならないと思える問題だけれど、放置しておくことはできなかった。そして彼女を説得するために、現場を押さえる必要があると考えた。

とはいえ平日は仕事があるし、必ず学校帰りに寄るとはかぎらない。土曜日なら休みだし、野菜炒めを残そうとしたのも土曜日の昼食だった。塾帰りがいちばん間違いないタイミンغدだろうと踏んで、こうして彼女のあとを追ってきたのである。この空き地に、凧が密かに飼っている動物がいるのは間違いない。

門柱の陰から出て、わたしも空き地へと向かう。木杭に渡された鉄線は間隔が広く、大人でもくぐるのは容易だった。完全に放置されている土地のようだし、私有地への不法侵入である点はお目こぼし願いたい。

すぐに空き地の端にしゃがんでいる凧を見つけた。

鳴き声は聞こえないけれど、「どう、おいしい？」と話しかける声が聞こえる。今日も持ってきた食べ物を与えているようだ。

「凧ちゃん」

声をかけると、はつと彼女は振り向いた。すぐには誰だかわからない様子で戸惑った表情を浮かべたものの、やがて気づいてくれたようだった。

「うん。駄菓子屋かすがいのおばちゃん。楓子、つていうんだけど」

「楓子、さん……？　なんで……」

② 凜の戸惑いはつづいていた。

さて、餌をやっていたのは犬か猫かと覗き込む。今度はわたしが戸惑う番だった。

タヌキ、キ……？

凜の前には排水溝のような、思いのほか深い溝がある。そのなかでこちらを見上げているのは明らかに犬や猫ではなく、タヌキと思しき動物だった。子タヌキであろうか、とても小さくかわいらしい。黒々としたつぶらな瞳には、守ってあげたくなくなる汚れなき光が宿っていた。

「タヌキ？ タヌキに餌をあげてたの？」

③ 半ばひとり言のように問いかけると、うん、と凜は返事をした。

「ここから、出られなくなったみたいで」

そういうことか、と排水溝を見やる。いまは完全に使われていないようで、左右ともに行き場がなく塞がっている様子だった。そのため蓋の外れた部分が落とし穴のようになっていた。その穴に子タヌキは落ちて、脱出できなくなった。

先週、凜は友人とともにこの子タヌキを見つけた。彼女は助け出そうとしたのだが、野生の動物に触っちゃいけないと友人に止められ、断念したらしい。けれどほっとくこともできず、毎日のようにやってきては、餌を与えていたようだ。食事の残り物を用意できなかったときは、冷蔵庫からこっそりソーセージを拝借したり、お小遣いで買ったこともあったという。

ともあれ友人の助言は正しく、④ 軽率な行動に出なかったことは幸いだった。たとえ犬猫でも野生と化した動物はどんな病気を持っているかわからないし、万が一にも噛まれたりしたら大変危険だ。たんなる怪我では済まない場合もある。近距離で

頻繁に接することも、本来はよくないことかもしれない。

「それはさておき、タヌキだったら玉ねぎも大丈夫なのかな」

漏れたひとり言に、凜は首を傾げた。わたしは⑤ ここに来た理由を説明する。ネギ類が中毒を起こすことはやはり知らなかったようだ。

「そっか。犬や猫に玉ねぎはダメなんだ……」

「うん。あとはチョコレートとか、イカやタコなんかもね」

「タヌキは？」

「えっと、タヌキは……」スマホで調べる。「大丈夫、そうかな。とくに問題はなさそう。でもね——」

凜の隣にしゃがみ彼女を真正面に見据える。

「野良猫も含めてなんだけど、野生の動物に勝手に餌をあげるのはよくないことなの」

「なんで？」

純粋な瞳に見つめられ、言葉に詰まる。

この先は、とても（注1）センシティブな問題だ。まさかタヌキとは思わず野良猫の扱いしか調べていなかったけれど、餌やりを善とするか悪とするかはさまざまな意見に分かれている。大人とて、なにが正解かはわからない。

ただ、野良猫に迷惑を受けている人がいるのは事実で、自治体によっては餌やりを禁じている場合もある。自己満足のためだけの、安易な気持ちでの餌やりはやはり控えるべきだろう。

「ひとつ質問だけど、もし穴に落ちていたのが野良猫だったとしても、同じように餌をあげてた？」

うん、と凜は（注2）躊躇なくうなずいた。

「だってかわいそうだもん」

とても素直で、まっとうな気持ちだと思う。

「凜ちゃんがそう感じたのはいいことだと思う。正しいことだ
と思う。でも、いつまでつづけるつもりだったの」

それは……、と彼女は俯いた。責めているわけではないと伝
わるよう、優しく語りかける。

「繰り返すけど、穴に落ちた動物をかわいそうだと思つて、餌
をあげた凜ちゃんの気持ちには正しいと思うの。でも、最後まで
責任を持つことはできないよね。こういう状況でなかった場合
も含めてだけど、たとえば勝手に餌をやっていた動物がほかの
人に迷惑をかけていた場合でも、やっぱり凜ちゃんは責任を持
てないよね」

「うん……」

悲しげに俯いた凜の肩に、静かに片手を載せた。

「でもさ、今回の場合はわたしとしてはよかったと思つよ。な
にも考えずに安易に餌を与えるのは、やっぱりよくないと思
うんだ。人と動物は住む世界が違うし、接し方には慎重さが求
められる。でも、この子ダヌキは閉じ込められてしまっていた
わけだし、緊急避難としての餌やりは正しいことだったとわた
しは思う」

「きんきゅう……?」

「えっと、つまり、とりあえずオツケーってこと」

そう言つて笑つと、凜の表情も和らいだ。とはいえ、とまじ
めな顔に戻る。

「野生の動物はいろんな病気を持つているかもしれないし、密
接な関わりはやっぱりよくなかつたと思う。大人の人に相談す
るべきだったかな」

「うん……」

寂しげにうなづく彼女の気持ちは痛いほどわかる。自宅で

ペットを飼えない代わり、ここで子ダヌキを育てている気持ち
だったのだろう。だからこそ彼女は誰にも見つからないよう密
かにこの場に赴いていた。この子ダヌキを独占したかったのだ。
けれど相手は野生動物だ。そもそも許されざる関係だったの
は間違いない。

あらためて、こういう場合の対処法をスマホで調べた。

なんとなくは知っていたけれど、やはり東京都内にはかな
りの数のタヌキが生息しているらしい。一時期話題になつた
(注3) ハクビシンなどもだ。

そして野生のタヌキに出会つたときの対処は、基本として
⑥「だそうだ。捕獲や(注4) 駆除の必要はなく、餌をやつ
てもいけない。

救助の必要がある場合でも、勝手に捕獲すると鳥獣保護法
に触れる可能性がある。もちろん危険も伴うので、(注5) しか
るべき機関に連絡するのがいちばん間違いない。ただし触れ
ずに逃がしてあげられるのなら、その手助けをするくらいは問
題がないようだった。

目の前の排水溝を覗くと、子ダヌキは少し離れた場所から窺
うようにこちらを見やつていた。相変わずくりくりとした瞳
がかわいらしい。

「凜ちゃん、この子ダヌキ、助けたいよね」

「うん」

「よし、じゃあ木の板を探そう!」

軽快に言つて立ち上がった。

ふたりで空き地を探索すると、ちょうどいい木の板が見つ
かつた。これを蓋に引っかけけるようにして、斜めに排水溝にか
けた。この板を上げれば子ダヌキでも脱出できるはずだ。

少し離れて見守っていると、警戒した様子で子ダヌキが板を上ってきた。わたしたちを見つめ、しばし視線を交わしたあと、たたくと逃げるように去っていった。

⑦ あつ、という凧の小さな叫び声が、夕焼けに染まりつつある空き地に悲しく漂う。伸ばした小さな手は(注6) 虚空だけを掴んでいた。

こうして一週間あまりにわたる凧と子ダヌキの物語は終焉を迎えた。

(伽古屋圭市「かすがい食堂」小学館 による)

注1 センシティブな問題 || 微妙で気づかひを必要とする問題

注2 躊躇 || ためらい

注3 ハクビシン || 額から鼻に白い線があるジャコウネコ科の外来種の動物

注4 駆除 || 追いはらうこと

注5 しかるべき || ふさわしい、適切な

注6 虚空 || なんにもない空間

1 — 線①「彼女は野良猫や野良犬にこっそり餌をあげているのではないか、と推測していた。」とありますが、「楓子」がそう考える根拠として、ふさわしいものを次の中から二つ選び、記号で書きなさい。

ア 彼女がペットを飼ってはいけけないマンションに住んでいるということ

イ 自宅での食事や給食の残りをビニール袋に入れていていること

ウ 江平家の野菜炒めには玉ねぎが入っているということ

エ 塾帰りが餌やりにいちばん間違いのないタイミングであるということ

オ 勝手に入ることができない私有地に足を踏み入れていること

2 — 線②「凧の戸惑いはつづいていた。」とありますが、それはどのような戸惑いですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 声をかけてきた人が誰だかわからないことへの戸惑い

イ 餌をあげることが本当にいけないことなのかという戸惑い

ウ 勝手に私有地に入っていることを叱られるのかもしれないという戸惑い

エ 駄菓子屋のおばさんがなぜここにいるのかという戸惑い

オ どうしたら子ダヌキを助けてあげられるのかわからないという戸惑い

3 — 線③ 「半ばひとり言のように問いかける」とありますが、なぜ「楓子」はこのように問いかけたのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア その動物がタヌキであることが信じられなかったから

イ 戸惑う凛に話しかけて、これ以上不安がらせてはいけなから

ウ 予想に反して、凛が助けていた動物がタヌキだったから

エ 小さくて可愛らしく、つぶらな瞳に守ってあげたいという気持ちが働いたから

オ 妹のことを思いやる兄の気持ちを考えたから

4 — 線④ 「軽率な行動」とありますが、それは具体的にどのようなものだと考えられますか。次の（ ）にあてはまるかたちにして、三十五字以内でわかりやすく説明しなさい。

() 行動

(下書き用)

行動	28			

5 —線⑤「ここに来た理由」とありますが、その説明として「ふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい」。

ア 動物には与えてはいけないものがあることを凜に知ってもらうため

イ 野生の動物に餌を勝手にあげるのは、好ましくないことを知ってもらうため

ウ 凜に自己満足のためだけの餌やりを続けさせてはいけないと考えたため

エ 凜自身の安全を守ってやらねばならないと考えたため

オ 餌やりを知られて落ち込む凜を何とかしてなぐさめてあげたいと考えたため

6 ⑥ にあてはまることばを6ページの本文中から漢字二字で探し、書きぬきなさい。

7 —線⑦「あつ、という凜の小さな叫び声」とありますが、この時の「凜」の気持ちとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 誰にも言わずに秘密にしていた子ダヌキとの関係がこの瞬間に終わってしまうという気持ち

イ 楓子さんと協力することで、ついに子ダヌキを助けてあげることができうれしい気持ち

ウ 一週間も続けていた餌やりが、無駄になってしまったと残念がる気持ち

エ 緊急避難として子ダヌキを助けてあげたことは間違っていないかったのだという気持ち

オ 大人には相談せずにひとりです子ダヌキの世話をできたことで少し背のびができたという気持ち

⑤ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

日本の詩歌には詩型がいろいろありますけれども、中でも俳句は外国で最もよく知られています。現在、例えばアメリカの小学校で、多くの児童が英語で俳句を作ることになっています。① どうして授業で俳句を作らせるかというと、そこには簡単な理由があります。子供にはソネット（十四行からなる定型叙情詩）のような面倒な規則のある詩を作る力はないのです。俳句の場合は分けて書いても三行にしかありませんし、自分たちの実際の生活を、自分が見た何かや綺麗に思った何かを詩にすることは、子供でも出来るからです。

そして、子供が詩を作ることは、教育全体の中で相当大事なことだと思われています。実際に詩を作ったことがなければ、つまり人の詩をただ読んだり聞いたりしただけで自分で作った体験がなければ、本当の詩歌はわからないからです。もちろん、七つや八つの子供がどんなに一所懸命に英語で俳句を作ったところで、素晴らしい出来栄は期待できません。また、詩や俳句の作り方を一応覚えても、大人になつて一流の俳人になることはほとんどありません。しかし、② そういう経験自体が非常に大事なことです。

外国の詩人の中には、俳句でなければ自分の感情や感傷を表現できないという人さえいます。私は、正直言って、外国人が俳句を作るのはただの遊びではないか、日本語の俳句ほど面白くないし、あつてもなくても同じことではないかと思っていました。しかし、ある時、知らないアメリカ人からいくつかの俳句をもらいました。その俳句は、亡くなった弟について詠っていました。彼は俳句の形で③ を伝えていたのです。もちろん、日本の俳句と違って、必ずしも季語は入っていないのですが、彼は自分の表現する形として俳句が最も適当なものだと感じていたのです。

外国における俳句の鑑賞は、百年以上前に遡ります。④ 一番大事な出来事は、おそらく、一九一六年にアメリカの詩人エズラ・パウンドが、英国の大英博物館で浮世絵を見たことです。パウンドは、浮世絵を見て大変面白く感じたのですが、その浮世絵には何か書いてありました。彼は日本語のわかる誰かに翻訳させます。それは短歌でした。その時から彼は、短い詩に深い関心を持つようになりました。パウンドは、自分なりにその詩型を使いたいと思ったのです。

一九一九年にアメリカの女流詩人エーミ・ローエルという人が、“*Pictures of the Floating World*”（浮世絵）という一冊本の俳句集を出しました。日本の俳句に全然似ていないのですが、その中から一つ読みましょう。彼女はこう書きました。

A もし螢の青い火が手に入れられるものならば、その明かりで貴方に手紙が書けるのに

螢は出てきますが、俳句らしくないし、季語として使われてもいません。言っているのは、ぜひ愛人に手紙を螢の火で書きたいということ、綺麗ではありませんが、異国趣味だという感じもします。本当の俳句を真似してはいません。

しかし、エズラ・パウンドの場合は全然違います。彼は俳句とは言いませんでした。単なる「詩」です。その詩の題は「メトロ（地下鉄）の駅の中で」。地下鉄の駅の中は俳句の典型的な題材ではないのですが、彼は短い詩を書きたい、何か不必要なことは一つもないような詩を作りたいと考えた。それが、彼が日本から学んだことです。

B 群衆の中の幽霊の顔 濡れた黒い枝に花びら

それだけです。どういうことかという、多分、薄暗い駅の中で雨に濡れた冬の黒い服を着ている人々の顔は幽霊の顔のようにかすかに見える、という雰囲気表現しているのでしょう。これは素晴らしい詩だとは言いがたいですが、大事なことは、不必要なこと、詩的な言葉が一つもないということです。パウンドは必要な言葉だけで簡潔に書きました。そのあと、彼はアイルランドの有名な詩人イエーツにこの話をし、イエーツはその影響を受け、特に（注）お能に興味を持つようになりました。

★余談になりますけれど、アメリカ人でアーネスト・フェノロサという人がいました。彼は日本の国宝の制度を作った人です。それまで日本人は平気で大事な美術品を外国人に売っていました。フェノロサは日本の美術に詳しくなって、「それはいけない、日本に残すべきだ」ということで制度を作ったのでした。フェノロサは日本に在る間にお能の稽古をしましたが、その翻訳もしました。お能の翻訳は俳句や短歌と同じように簡潔です。お能の特徴として、そこには、必要でないことは含まれていないからです。なるべく短い方がいい。お能を読む場合、時間のかかり方は劇場と違う、つまり能楽堂での上演にかかる時間とは違うのです。読むと、数十分ほどで一つのお能を読めますが、その時まで、ヨーロッパの演劇にはそういうものがなかったのです。芝居というものは三時間かかるものだという常識がありました。俳句あるいは短歌の影響を受けて、短いものにも深みがあるということがわかりました。

要するに^⑤俳句や短歌は世界で最も短い詩型だと言ってもいいのです。

（ドナルド・キーン『日本を寿ぐ——九つの講演』新潮社 による）

1 — 線①「どうして授業で俳句を作らせるか」とありますが、その理由の説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 日本語には多くの詩型があるが、中でも俳句が最も有名であるから

イ アメリカでは俳句が最も人気があり、多くのすばらしい詩人を生み出しているから

ウ 子供にとって詩を作ることは大切であり、俳句の形式であれば子供にも作れるから

エ アメリカでは子供が詩を作ることを大切にしており、三行詩は伝統的な形だから

オ 子供は経験が少なく、感情をうまく表現するような素晴らしい詩は書けないから

2 — 線②「そういう経験自体が非常に大事なことなのです」とありますが、なぜですか。その理由が書かれている一文を探し、初めの三字を書きなさい。

3 ③ ③に入ることばとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 自分の深い感情

イ 経験したこと

ウ 日本語の美しさ

エ 詩の面白さ

オ 表現する難しさ

4 — 線④「一番大事な出来事」とはどのようなことですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア パウンドが浮世絵に面白さを感じ、日本の文化を大切に思い始めたこと

イ パウンドが浮世絵を目にし、そこに書かれていた短歌とめぐりあったこと

ウ パウンドが短い詩を「俳句」とは呼ばず、「短い詩」として発表したこと

エ エーミ・ローエルが俳句の簡潔さにひかれ、俳句集を発表したこと

オ パウンドとエーミ・ローエルが浮世絵や俳句などの日本文化に出会ったこと

5 AとBの詩について説明した文としてふさわしいものを、それぞれ一つ選び、記号で書きなさい。

A 蛍という季語を使い、自身の感情を簡潔に、素直にうたおうと試みている。

イ 蛍という語を、季語ではなく新しいかたちで取り入れ、俳句の新しい可能性に挑戦している。

ウ 本来の俳句の良さを理解し、簡単な言葉で複雑な興行きある感情を表現している。

エ 本来の俳句とはかけ離れており、感情や情景を詩的に、かつ、美しく表現しようとしている。

オ 比喩表現を多く使うことで、俳句の持つ簡潔さと西洋文化の芸術性との一体化を目指している。

